

## 標準施工仕様

### 標準仕様（平滑面）

	製品名	調合割合	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)	備考 (施工器具)
1. 下地調整	▼ 下地調整 による					
2. 下 塗	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1~0.2	1	2以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
3. 中 塗	ダイヤカレイド中塗 無希釈	16kg	0.16~0.22	1	2以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
4. 上 塗	ダイヤカレイド上塗 無希釈	18kg	0.4~0.5	1	—	万能ガン 口径5.5mm

※塗布量は被塗物の形状や素地の状態、施工条件、環境条件などによって増減することがあります。  
※間隔時間は温度23℃、湿度50%の場合です。温度、湿度によって乾燥時間に差異を生じますので注意して下さい。

### 標準仕様（改裝：サイディングパネル面（窯業系））

	製品名	調合割合	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)	備考 (施工器具)
1. 下地調整	▼ 下地調整 による					
2. 下 塗	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1~0.2	1	2以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
3. 中 塗	ダイヤカレイド中塗 無希釈	16kg	0.2~0.3	1	2以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
4. 上 塗	ダイヤカレイド上塗 無希釈	18kg	0.5~0.7	1	—	万能ガン 口径5.5mm

※塗布量は被塗物の形状や素地の状態、施工条件、環境条件などによって増減することがあります。  
※間隔時間は温度23℃、湿度50%の場合です。温度、湿度によって乾燥時間に差異を生じますので注意して下さい。

- ダイヤカレイド上塗は撥弾線、積砂などを用い、均質になるまで手作業で穏やかに撥弾して下さい。電動撹拌機を用いて撹拌しますと、模様の子が破壊する恐れがありますので使用しないで下さい。

### ■ 施工・管理上の注意

- 【塗膜面の調整（事前）】
- ① 塗膜面が凹凸している箇所、汚染、油膜、剥離、レタックス等を完全に除去して下さい。
  - ② セメント質下地は、表面の含水率10%以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要となります。
  - ③ 上塗り後は、物に乾いてから施工して下さい。
  - ④ 40℃以上の高温多湿環境下での場合は、
  - ⑤ ① 豆粒、木コブ、破損箇所、不溶などは、セメントフィラー、セメンシヤス#2000、セメンシヤス#2500、リマモル#70等の下地調整材を使用し、補修して平滑にして下さい。
  - ⑥ 2階以上の高層ビルなど高層の場合は、レタックスを除去し、ダイヤガンコーラー又は、ダイヤシーラーエを併用して下さい。
  - ⑦ ALCCパネルの場合、ダイヤガンフィラーまたはダイヤアクレスフィラーを塗布して下さい。
- 【塗膜面の調整（事後・発生時）】
- ① 壁面上防水、目地防水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
  - ② 使用フレンジ材の種類により浸透のひび割れ、剥離、フールド等の異常を生ずる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。

- 【塗膜面の調整（発生）】
- ① 凸現物の改裝工事仕様に沿って凸現部分の陥凹や腐食塗膜の処理（ケレン、清掃、高圧洗浄など）を行って下さい。
  - ② 陥凹部分の補修には、取除いてから施工して下さい。
  - ③ ホーミングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
- 【材料の保管・管理】
- ① 開封した材料は必ず密閉し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
  - ② 材料の劣化は着色や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封の非直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長期貯蔵したものは十分撹拌し、変質の有無を確認して下さい。

- 【施工】
- ① 気温5℃以下、降雨、降雪、塩風下および相対湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は（雨）養生して下さい。
  - ② 材料の経時硬化は十分留意し、均一に塗布して下さい。撹拌を繰り返すと凝固不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
  - ③ ダイヤワイドシーラー、ダイヤカレイド中塗、ダイヤカレイド上塗の電動撹拌機を用いて、均一に撹拌してから使用して下さい。
  - ④ （ダイヤカレイド上塗）  
撹拌機、刷毛などを用い、均質になるまで手作業で穏やかに撹拌して下さい。  
電動撹拌機を用いて撹拌しますと、模様の子が破壊する恐れがありますので使用しないで下さい。
  - ⑤ 材料は付着乾燥しますと取れまないので、完全に養生して下さい。塗付面周辺の養生を完全にを行い、施工時周囲の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後、塗料が完全に養生管を完全に覆った状態で、乾燥後、養生テープを取り除く場合はかき取りを入れて下さい。そのまま取り除きますと塗りがとりとなります。
  - ⑥ 乾燥時間は、温度、湿度、おひかり量などにより異なります。
  - ⑦ フレンジが腐食する場合は、塗布後2週間以上乾燥させて使用して下さい。
  - ⑧ 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
  - ⑨ 施工にあたっては、同一方法で、同一方向、出隅等切り角の真いところまで仕上げて下さい。同一面塗装中の塗り残りは色違いやムラの原因となります。
  - ⑩ 施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。

### 標準仕様（改裝：塗膜面（微弾性フィラー処理））

	製品名	調合割合	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	間隔時間 (hr)	備考 (施工器具)
1. 下地調整	▼ 下地調整 による					
2. 下 塗	ダイヤアクレスフィラー 清 水	16kg 1~1.3	0.3~0.5	1	5以上	中毛ローラー 刷毛
2. 下 塗	ダイヤアクレスフィラー 清 水	16kg 0.5~0.8	0.8~1.0	1	16以上	多孔質ローラー
3. 中 塗	ダイヤカレイド中塗 無希釈	16kg	0.2~0.3	1	2以上	中毛ローラー 刷毛、エアレス
4. 上 塗	ダイヤカレイド上塗 無希釈	18kg	0.5~0.7	1	—	万能ガン 口径5.5mm

※塗布量は被塗物の形状や素地の状態、施工条件、環境条件などによって増減することがあります。  
※間隔時間は温度23℃、湿度50%の場合です。温度、湿度によって乾燥時間に差異を生じますので注意して下さい。

- 上記以外の仕様は施工要領書をご参照下さい。

- ① 本施工に入る前に試験撹拌を行い、施工のタイミング、粘り、塗布量などをチェックし、仕上がりムラのないよう確認して下さい。※常に粘着が発生する乾燥時期での施工は避けて下さい。
- ② 安全衛生上の注意事項については、巻頭の表示も合わせてご参照下さい。
- ③ 均一に塗る際の材料や油膜などによる不均一、間隔時間を守り、乾膜厚度以上に塗布して塗布して下さい。
- ④ 塗布量下地の差によって、塗布量が変化する場合があります。
- ⑤ フォアムや無機系などの難着塗膜が塗布されている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合には塗膜の発生箇所を十分確認して下さい。
- ⑥ 可塑時間及び塗膜硬化は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑦ 使用した塗料は直ちに洗浄して下さい。放置すると硬化して洗浄することが難しくなります。
- ⑧ 乾燥時に、湿度、温度変化、風等により劣化が生じます。
- ⑨ 下地の吸込ムラにより色のムラが発生する場合があります。
- ⑩ ショーエール塗膜を塗布する場合は付着不良が発生するので、撥弾機、ローラーなどの共用は避けて下さい。
- ⑪ 上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
- ⑫ 腐食塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には高圧水洗後にはダイヤガンコーラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
- ⑬ 施工後、塗膜が乾燥するまでに、降雨などにより水分の影響を受ける状態が継続された場合、低汚染機能が発現しないことがあります。また、乾燥中に降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。
- ⑭ 劣化部分の補修には劣化部分の除去、シーリング材の再施工を行い、塗膜が劣化しないよう対策を講じて下さい。
- ⑮ 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。雨掛りでない部位や斜壁、水切りが不十分な面や窓まわり及びその下側面などは、低汚染機能が発現しない場合があります。
- ⑯ ショーエール材などに含まれる可塑剤、硬質化剤、サビ防止などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。
- ⑰ 上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合は低汚染機能が十分に発揮されません。
- ⑱ 可塑剤を十分に乾燥させる場合は、十分な乾燥時間が必要となります。上塗材の付着不良を防止して下さい。壁面に上塗材が十分に付着していないと耐水性、低汚染機能が発揮されません。
- ⑲ 中塗・上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合やパターン各部に塗膜がある場合は低汚染機能が十分に発揮されません。
- ⑳ 上塗と中塗は共通色を使用するため、中塗施工・上塗を施工する場合は塗膜の色が均一に十分注意して下さい。また、タフケアプロダクト系、中塗・上塗を調製しないよう管理責任には十分注意して下さい。施工管理上、中塗の色相を変える場合はご注文の期の上でお申し付け下さい。

- 【安全衛生上の注意】
- ① 吸い込み、飲み込み、皮膚に接触しないように、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
  - ② 吸い込み、飲み込み、皮膚に接触しないように十分に行ってください。
  - ③ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
  - ④ 作業中作業服は必ず換えて下さい。
  - ⑤ 塗料が肌、髪、衣類等に付着した場合は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
  - ⑥ 目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い、できなければ（医師の診断を受けて下さい）。
  - ⑦ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い、できなければ（医師の診断を受けて下さい）。
  - ⑧ 中塗を塗り、切った場合は、直ちに多量の水で洗い、できなければ（医師の診断を受けて下さい）。
  - ⑨ 皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い、できなければ（医師の診断を受けて下さい）。
  - ⑩ 吸入、皮膚を侵した場合は、直ちに多量の水で洗い、できなければ（医師の診断を受けて下さい）。
- 【その他】
- ① その他、詳しくは取扱書の各章節等へお問い合わせ下さい。
  - ② 施工に際し、施工・管理上の留意事項についてはダイヤカレイド施工要領書「仕様・保管等」をご確認ください。
  - ③ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意事項については安全データシート（SDS）をご確認ください。

## 水性シリコン系微光沢多彩模様塗料

# DIA KALEIDO

## ダイヤ カレイド

## DIA Top quality multicolor coating

水性シリコン系微光沢多彩模様塗料

# DIA KALEIDO

ダイヤ カレイド

～ 優美な色彩と耀きの調和 ～

多彩な色と上品な光沢  
華やかな重厚感の演出



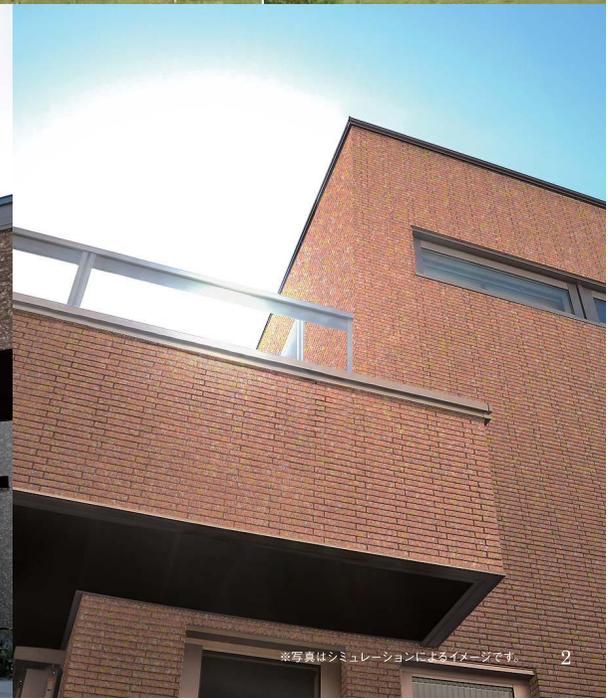
春の柔らかな朝陽 深まる秋の斜光  
四季折々の陽光や 朝夕の日差に映え、  
その時々表情を見せてくれます。

従来の塗料では表現できない豪華な質感、  
深みのある彩を お届けします。



After

Before



※写真はいシミュレーションによるイメージです。

# Monotone gloss

モノトーンのおもしろさが、洗練された奥行きのある空間を演出します。  
質感を追求したシンプルな色遣いは、  
スタイリッシュな風合いをより愉しまたい方にお勧めです。

## モノトーングロス



DK-1101



DK-1102



DK-1103



DK-1104

# Oriental gloss

小粒なレンガ風の赤色が、深みのあるクラシカルな空間を演出します。  
華やかな色遣いは、ドラマチックな表情の移ろいを愉しまたい方にお勧めです。



## オリエンタルグロス



DK-1109



DK-1110



DK-1111



DK-1112

# Bitter gloss

自然界に存在する色相に重厚感が加わり、落ち着いた中にも、微細なきらめきを持つ空間を演出します。  
街並みに溶け込む色遣いは、調和のとれた美しさを愉しまたい方にお勧めです。



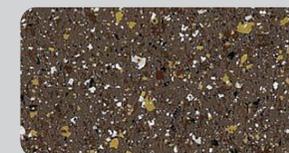
## ビターグロス



DK-1105



DK-1106



DK-1107



DK-1108

# DIA KALEIDO

ダイヤ カレイド

特長

## 高意匠性

**従来の単色塗料にない立体感と深みがある  
豪華な彩を演出します。**

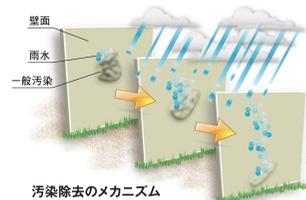
ダイヤカレイドの上塗材は、顔料カプセル（ゲル）で意匠性を持たせる一般的な多彩模様と異なり、カラーフレークを配合する事で光沢のある立体的な塗膜となり、高級感と重厚感がある仕上がりとなります。また、耐候性に優れていることはもちろん、施工による色ムラが発生しにくいいため、デザイン性がブレないことが大きな特長です。



## 低汚染性

**汚れにくい性質の塗料です。**

塗装後の壁面が水となじみやすくなるため、汚れ（排気ガスや粉塵等）が付着しても雨水で流れやすいという特性を持ちます。また、防カビ・防藻性にも優れています。



## 安全性

**人と環境にやさしい塗料です。**

各工程が全て水性のため低臭です。また、ホルムアルデヒド・キシレン・トルエン等の有害な揮発性有機化合物（VOC）を含まないことから安心してご使用いただけます。



## 微弾性

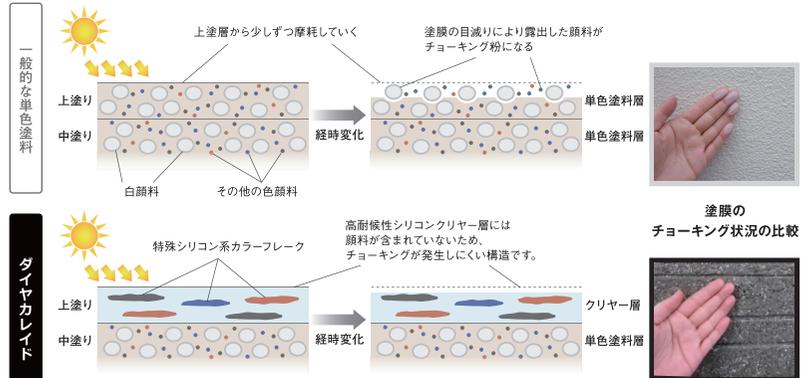
**下地追従性に優れています。**

ダイヤカレイドの塗膜は微弾性下塗材対応です。下塗材に「ダイヤアクレスフィラー」を選定することにより、下地の軽微なひび割れを充てんし、ひび割れの拡大を防ぎます。

## 高耐候性

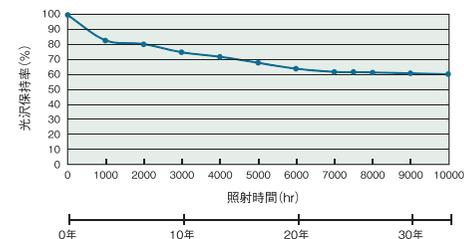
**塗装後の美しい仕上がりを長く保ちます。**

ダイヤカレイドの上塗材は顔料を配合しない高耐候性シリコンクリヤーを採用しているため、チョーキング（白亜化）が発生しにくい構造になっています。さらに、上塗材のクリヤー皮膜は紫外線や雨水の攻撃から建物を長期的にガードします。また、高温成膜技術により工場生産された特殊カラーフレークは非常に安定した塗膜物性を持つため、単色顔料と比較すると変色が起こりにくい特性を有しています。



※チョーキングとは、主に塗装表面が暴露状態の際に、紫外線等により塗装面の表面樹脂が劣化し、塗料の色成分の顔料がチョークのように粉状になって剥れる現象や状態のことです。

### 促進耐候性試験（サンシャインウエザーメーター）



耐候形1種相当

屋内外の環境条件（太陽光・温度・降雨等）を人工的に再現し、劣化を促進させ短期間で耐候性の性能を確認する試験です。

※サンシャインウエザーメーター300時間は実場1年に相当